

平成 28 年度予算における教育分野の主な取組について

1 宮城県教育振興基本計画第 2 期アクションプラン掲載事業

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 増 減 |
|------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業数（再掲除く） | 338 事業 | 359 事業 | +21 事業 |
| 事業費（当初予算額） | 60,400,302 千円 | 59,155,845 千円 | ▲1,244,457 千円 |

※ 第 2 期アクションプラン（計画期間：平成 26 年度～平成 29 年度）

宮城県教育振興基本計画の実現に向けた取組の内容やその目標を具体的に示すものであり、各年度の県教育行政運営の基本的な指針となるもの。

2 教育分野の主な取組について

※「教育等の振興に関する施策の大綱」の体系に基づき記載

基本目標 1 学ぶ力と自立する力の育成

(1) 小・中・高等学校を通じた「志教育」の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------------------|---|-----------------|---------|
| <u>志教育支援事業【拡充】</u> | 小学校から高等学校までの系統的な教育活動を通じ、常に社会の中における人間の生き方を考えながら学びに向かうよう促し、児童生徒が社会人・職業人として自立する上で必要な能力や態度を育てるとともに、主体的に学ぶ意欲を高める。 ・ 指定校支援・事例発表会 ・ フォーラムの開催 ・ 「みやぎの先人集 未来への架け橋 2」リーフレットの作成【新規】 | 7,882 千円 | 義務教育課 |
| 高等学校「志教育」推進事業 | 高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。 ・ 研究推進事業 ・ 情報発信事業 ・ みやぎ高校生マナーアップ運動推進事業 ・ みやぎ高校生地域貢献推進事業 ・ 魅力ある県立高校づくり支援事業 | 12,465 千円 | 高校教育課 |
| <u>地域医療を志す中学生育成事業【新規】</u> | 県内の中学生が医療機関の見学や医療体験を通じ、県内の医療現場の理解と医療関係者として働くことの重要性について認識してもらい、医学部・看護学部への進学を目指す生徒のすそ野を広げ、将来宮城の医師・看護師として活躍する志を持った人材の育成を行う。 | 1,813 千円 | 医師確保対策室 |

(2) 基礎的な学力の定着と活用する力の伸長

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-------------------------|--|-----------------|-------|
| <u>小中学校学力向上推進事業【拡充】</u> | <p>児童生徒に基礎・基本を確実に定着させ、学力の全体的な向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究推進校の指定による学力向上のための実践研究の推進, 研究成果の普及 指導力に優れた教員の学校等への派遣 英語教育における小中連携の促進 学力調査の活用と小学校算数や中学校数学の学力向上研修会の実施 学力向上対策を自校化した取組事例をまとめ, 各小中学校に配布 科学の甲子園ジュニア宮城県予選会の実施 単元問題ライブラリー「算数・数学チャレンジ大会2016」 本県の課題である算数・数学の学力向上対策を策定するため協議会を開催する。 CAN-DOリストを作成した趣旨を踏まえ, その活用を通し, 指導と評価の改善を図る。 <u>優れた授業の技を持つ教員の授業をビデオ配信し, 授業力の向上を図る。【新規】</u> | 283,214 千円 | 義務教育課 |
| <u>高等学校学力向上推進事業【拡充】</u> | <ul style="list-style-type: none"> 高校生を対象に学力調査(2年生), 質問紙調査(1・2年生)を実施し, 生徒の学力・学習状況を把握する。 1学年主任を対象に研修会を実施し, 生徒の学力向上及び教員の指導体制の確立を図る。 指導主事派遣等を通して教員の指導力向上を図る。 新学習指導要領に対応するため, 手引・指導資料等を作成する。 <u>将来宮城の医師となる志を持つ生徒を対象として, 合同学習合宿等を通じて学力, 学習意欲の向上を図る。【拡充】</u> <u>先端科学技術を担う人材, 世界に雄飛する人材を高校生段階から育成するための事業を実施する。【拡充】</u> 高等学校教育の質の保証のための事業を実施する。 | 34,843 千円 | 高校教育課 |

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解を育む教育の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------|--|-----------------|-------|
| 実践的英語教育充実支援事業 | <p>外国語教育の充実と地域レベルの国際交流を推進し, 諸外国との相互理解を深め, 国際化の促進に役立てるため, 外国語指導等を行う外国語指導助手を民間への業務委託及び派遣契約により配置する。また, CAN-DOリストの作成・活用等及び英語力検証のための先駆的取組を行う先進的英語教育充実支援事業を行う。</p> | 100,646 千円 | 高校教育課 |

(4) 時代の要請に応えた教育の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------------------------------|---|-----------------|-------|
| <u>ICTを活用した特別支援学校スキルアップ事業</u> 【新規】 | 特別支援学校において、ICT機器を障害を補うツールとして活用し、「自立」と「社会参加」を促進することにより、地域における共生社会（全員参加型社会）の実現を目指す。 | 28,800 千円 | 教育企画室 |

基本目標 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成

(1) 感性豊かでたくましい心を持つ子どもの育成と支援

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-------------------------|---|-----------------|-------|
| 豊かな体験活動推進事業 (非予算的手法) | 震災により地域とのつながりの重要性が再認識されていることから、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むために、小中学生の民泊による体験学習「子ども農山漁村交流プロジェクト」と連携し、成長段階に応じて社会奉仕体験や自然体験などの促進を図る。 | 0 千円 | 義務教育課 |

(2) 健康な体づくりと体力・運動能力の向上

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------------------|---|-----------------|---------|
| みやぎの子どもの体力・運動能力充実プロジェクト事業 | 子どもの体力・運動能力の向上に向け、児童生徒の実態に応じた向上策を検討するとともに、児童生徒の運動習慣化を図るための方策を運動・食事の両面からも検討を加え、実施する。 | 1,245 千円 | スポーツ健康課 |

(3) 食に関心をもち、元気な子どもの育成

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------------------------------|---|-----------------|---------|
| 食育・地産地消推進事業 | 県内で生産される農林水産物に対する理解の向上や消費・活用の促進を図るため、地産地消を全県的に推進する。また、県産食材や地産地消の必要性について理解を深めるため、食育を推進する。 | 5,081 千円 | 食産業振興課 |
| <u>社会的課題に対応するための学校給食活用事業</u> 【新規】 | 平成28年度に新規開校する女川高等学園で食に関する指導体制を構築する機会を捉え、児童生徒の健康課題解決に役立つ食育の効果について科学的に検証するとともに、県内に周知し、食育の推進を図る。 | 8,000 千円 | スポーツ健康課 |

(4) 心身の健康を保つ学校保健の充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------|---|-----------------|---------|
| 学校・地域保健連携推進事業 | 公立小・中学校及び県立学校を対象に、心身の健康問題を抱えている児童生徒の課題解決に向け、希望する学校に専門医等を派遣し、「心のケア」などに関する研修会、健康相談等を実施する。また、各教育事務所に地域における健康課題解決に向けた支援チームをつくり、研修会等を実施する。 | 2,834 千円 | スポーツ健康課 |

基本目標 3 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進

(1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-------------------------------|---|-----------------|------------------|
| 特別支援学校の整備 | <p>【校舎改築事業費（特別支援学校）】</p> <p>経年により老朽化し、構造耐力が低下している既存校舎等の改築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚支援学校寄宿舎の改築を行う。 (H28 年度～H31 年度) 拓桃支援学校を移転新設する。 (H23 年度～H27 年度) 女川高等学園を新設する。 (H23 年度～H27 年度) 山元支援学校の改築を行う。 (H24 年度～H26 年度) 小松島支援学校を新設する。 (H22 年度～H26 年度) <p>【仮設校舎管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の増加に伴う学級増に対応するため、古川支援学校、利府支援学校、名取支援学校における仮設校舎のリースを行う。 <p>【障害児地域教育充実事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の狭隘化に対応するため、西多賀支援学校の教育種別追加に伴う改修、(仮称)利府支援学校塩竈校や(仮称)小松島支援学校松陵校など、分校等の整備を行う。 | 85,093 千円 | 特別支援教育室 施設整備課 |
| <u>屋内運動場改築事業費（特別支援学校）【新規】</u> | 経年により老朽化が著しい既存屋内運動場の改築を行う。 (小牛田高等学園) | 25,327 千円 | 施設整備課 |
| <u>屋内運動場整備事業費（特別支援学校）【新規】</u> | 経年により老朽化し、構造耐力が低下している既存屋内運動場の大規模改造を行う。 (西多賀支援学校、船岡支援学校) | 15,769 千円 | 施設整備課 |
| <u>屋外環境整備事業費（特別支援学校）【新規】</u> | 送迎バス駐車場及び乗降場敷地確保のため、用地取得と整備を行う。 (名取支援学校) | 52,570 千円 | 施設整備課 |

(2) 障害のある子どもの自立と社会参加の支援

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|------------------|--|-----------------|-------|
| 障害者就業・生活支援センター事業 | 障害者就業・生活支援センターを設置し、生活担当支援員を配置することにより、生活面を中心とした相談対応や支援を行う。 | 32,963 千円 | 障害福祉課 |
| 発達障害者支援センター運営事業 | 発達障害者支援センター「えくぼ」を設置し、発達障害児(者)及びその家族、支援者に対する相談支援、発達支援、就労支援のほか、関係施設及び関係機関等に対する普及啓発、研修等を実施する。 | 24,000 千円 | 障害福祉課 |

基本目標 4 被災地における安全・安心な学校教育の確保

(1) 地域や時代のニーズに応じた安全で質の高い教育環境の整備

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------|--|-----------------|-------|
| 県立学校施設災害復旧事業 | 震災により被害を受けた県立学校施設について、復旧工事などを早急に行うとともに、著しい被害を受けた学校施設について、仮設校舎等を設置することにより教育環境を確保しながら必要な施設を整備する。 | 5,651,613 千円 | 施設整備課 |

(2) 被災児童生徒等への就学支援

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|----------------------|--|-----------------|-------|
| 被災児童生徒就学支援事業（公立小中学校） | 震災により、経済的な理由から就学等が困難となった世帯の公立小中学校（中等教育学校前期課程含む。）の児童生徒等を対象に、学用品費、通学費（スクールバス利用費を含む。）、修学旅行費、給食費等の就学支援を行う。 | 1,757,283 千円 | 義務教育課 |
| 高等学校等育英奨学資金貸付事業 | 経済的理由から修学が困難となった生徒に対し奨学資金を貸し付けるとともに、震災を起因とした経済的理由により修学が困難となった生徒を対象にした奨学資金を新設し、被災生徒奨学資金の貸し付けを行う。 | 985,094 千円 | 高校教育課 |

(3) 児童生徒等の心のケア

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------------------------------|--|-----------------|-------|
| <u>みやぎ子どもの心のケア ハウス運営支援事業【新規】</u> | 東日本大震災に起因する心の問題から生じる不登校や不登校傾向及びいじめ等により、学校生活に困難を抱えるようになった児童生徒の学校復帰や自立支援を目的として市町村が行う体制整備を支援する。 | 103,000 千円 | 義務教育課 |
| <u>いじめ・不登校等対策推進事業【拡充】</u> | 児童生徒自身が抱える問題や児童生徒を取り巻く震災等による環境の変化等、多様な要因により生じるいじめや不登校等の問題行動を解決するために、スクールソーシャルワーカーや支援員等の配置・派遣、機動的な支援チームの設置等により、児童生徒や家庭、学校へ多様な支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登校支援ネットワーク推進協議会の設置 ・ 地域ネットワークセンターの設置と訪問指導員の配置 ・ 在学青少年育成員の各教育事務所・地域事務所への配置 ・ <u>スクールソーシャルワーカーの配置【拡充】</u> ・ 教員の加配 ・ 支援員・アドバイザーの派遣・配置 ・ <u>いじめ対応マニュアルの作成・配布【新規】</u> ・ <u>児童生徒の心のサポート班の設置【新規】</u> | 1,410,992 千円 | 義務教育課 |
| <u>いじめ・不登校等対策強化事業【拡充】</u> | いじめ・不登校等の問題行動に対応するため、生徒指導、学習支援、進路支援等を行う心のケア支援員・心のサポートアドバイザーを配置するとともに、関係機関や外部の専門家等との連携・協力のネットワークを強化し、組織的・体系的な生徒指導を進め、問題の早期発見・早期解決を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>心のケア支援員の配置【拡充】</u> | 94,800 千円 | 高校教育課 |

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-------------------------------|--|-----------------|----------|
| 教育相談充実事業【拡充】 | <p>震災により被災した児童生徒の心のケアや問題を抱える児童生徒への支援及び問題行動等の未然防止を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内中学校へのスクールカウンセラーの配置と小学校への派遣 【拡充】 ・ 学校や市町村教育委員会の要望に応じた県内外のスクールカウンセラーの配置・派遣 ・ 各教育事務所・地域事務所への専門カウンセラーの配置 ・ けやき教室への児童生徒の指導を行う相談員やボランティアの派遣 ・ 心のケアに係る研修会等の実施 ・ 心のケアに係る外部人材の活用 ・ 学校教育活動復旧支援員の配置 | 609,795 千円 | 義務教育課 |
| 高等学校スクールカウンセラー活用事業【拡充】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全県立高校にスクールカウンセラーを配置することにより、多様化・複雑化した生徒・保護者・教員の相談に対応する。 ・ 震災後の生徒の心のケアを図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識、経験を有するスクールカウンセラー等を被災地域へ多く派遣する。 ・ 教員とスクールカウンセラーを対象に、スーパーバイザー等を活用した研修会や連絡会議を開催し、震災後の心のケアに関する教職員の資質向上に資するとともに、校内の教育相談体制の強化を図る。 ・ 地域の関係機関や家庭と連携した指導の充実を図るため、学校の要望に応じ、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。 | 174,906 千円 | 高校教育課 |
| 文化芸術による心の復興支援事業 | <p>第2期宮城県文化振興ビジョンの重点取組である「文化芸術の力を活用した震災からの心の復興」を推進するため、市町村、学校、文化施設、支援団体、芸術家等と連携・協働し、未来を担う子どもたちや地域住民等が文化芸術に触れる機会や、参画・成果発表する場を創設し、様々な主体による心の復興に向けた取組を推進する。</p> | 50,000 千円 | 消費生活・文化課 |

(4) 防災教育の充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------------|---|-----------------|---------|
| 防災教育推進事業【拡充】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の教訓、指針の内容を児童生徒等に内面化させるため、防災教育副読本を作成し防災教育の徹底を図るとともに、関係機関のネットワークを整備し、学校・家庭・地域の連携による防災教育・防災体制の充実を図る。 ・ 防災教育推進協力校を指定し、防災教育副読本を活用するとともに、地域と連携した防災教育のカリキュラムを含めた実践教育を推進し、みやぎモデルを創造する。さらにその成果を発信することにより、防災教育の一層の充実に努める。 ・ 「未来への絆」発展プロジェクト（防災教育副読本を活用した取組、中高生の防災活動、フォーラムの実施 等） 【新規】 | 8,000 千円 | スポーツ健康課 |

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------------|--|-----------------|---------|
| 学校安全教育推進事業 【拡充】 | 震災により子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、登下校や学校生活における安全への配慮や、防犯への配慮が必要となることから、復旧状況に対応した学校安全教育に継続的に取り組む。 ・ 防災教育を中心とした安全教育総合支援事業（市町村委託）【拡充】 | 6,750 千円 | スポーツ健康課 |
| 防災主任・安全担当主幹教諭配置事業 | ・大震災の記憶を薄れることなく後世に伝える仕組みを作るとともに、自然災害に対する危機意識を高め、学校教育における防災教育等の充実を図るため、全公立学校に防災主任を配置する。 ・震災にとどまらず、総合的な学校安全、いじめ・不登校対策推進に係る地域の学校の中心的な役割を担う安全担当主幹教諭を拠点校に配置する。 | 695,792 千円 | 教職員課 |

基本目標 5 信頼され魅力ある教育環境づくり

(1) 教員が学び続けるための体系的な研修の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------------------------|---|-----------------|------|
| 教育職員等中央研修事業費（教職員CUP事業） 【拡充】 | 独立行政法人教員研修センター等が主催する研修や教職大学院などに現職の教員を派遣し、本県の学校教育の中心的な役割を担うリーダーの育成と様々な喫緊の重要課題に関わる研修会等の指導者を養成する。 ・ 教育大学教職大学院指定研修派遣【新規】 | 6,016 千円 | 教職員課 |

(2) 開かれた学校づくりの推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------|---|-----------------|-------|
| 学校評価事業 | 学校における自己評価及び学校関係者評価の着実な実施を図るため学校評議員を委嘱・配置する。また、学校評価・授業評価の研修会等を開催する。 | 1,167 千円 | 高校教育課 |

(3) 優れた人材の確保と能力を発揮できる教職員人事システムの確立

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------------|---|-----------------|------|
| 実践的指導力と人間性重視の教員採用事業 | 教員としての資質能力を備えた優れた人材の採用を確保し、本県教育の振興に努める。 | 13,255 千円 | 教職員課 |

(4) 教職員を支える環境づくりの推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-----------|---|-----------------|------|
| 教職員健康管理事業 | ・生活習慣病健診を実施し、疾病の早期発見と早期治療について適切な指導を行う。 ・ストレスチェックを実施し、メンタルヘルス不調の未然防止を図る。 ・健康管理医を選任し、各職場における安全と衛生の確保等を行う。 | 63,558 千円 | 福利課 |

(5) 県立高校の改革の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------|---|-----------------|----------------|
| 県立高校将来構想推進事業 | 県の復興計画や各地域の復興の方向性などを踏まえて策定される「新県立高校将来構想（平成 23～32 年度）」の実施計画に基づき、再編及び学科改編に伴う学校施設や教育環境の整備を進める。 | 20,092 千円 | 教育企画室 高校教育課 |

(6) 学習環境の整備充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|------------------------|---|-----------------|-------|
| <u>新增改築校等設備整備費【新規】</u> | 震災により被害を受けた県立高校施設について、教育環境を確保するため必要な設備を整備する。 (農業高等学校) | 12,789 千円 | 施設整備課 |
| <u>子ども食堂支援事業【新規】</u> | 県内の子ども食堂実施団体、子どもの実情把握を行いながら、支援方法等について具体的な検討を行う。 | 500 千円 | 社会福祉課 |
| <u>学習支援事業【新規】</u> | 県内（町村域）での学習支援事業実施に向け、対象者、実施方法、実施体制等について部局横断型の検討チームを編成し、具体的な検討を行う。 | 500 千円 | 社会福祉課 |

(7) 私学教育の振興

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-----------|----------------------|------------------|-------|
| 私立学校運営費補助 | 私立学校の経常的経費に対して補助を行う。 | 10,625,975 千円 | 私学文書課 |

基本目標 6 幼児教育の充実と家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり

(1) 幼児教育の充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-----------------|--|-----------------|-------|
| 「学ぶ土台づくり」普及啓発事業 | 第2期「学ぶ土台づくり」推進計画を踏まえ、幼児教育の一層の充実に向けて、「親子間の愛着形成の促進」や「基本的生活習慣の確立」、「豊かな体験活動による学びの促進」の重要性について啓発する。また、関係機関と連携しながら「幼児教育の充実のための環境づくり」に取り組む。 ・ 「学ぶ土台づくり」研修会 ・ 圏域別親の学び研修会 ・ 親になるための教育推進事業 ・ 市町村等支援事業 | 3,832 千円 | 教育企画室 |

(2) 親の「学び」と「子育て」を支える環境づくり

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------|--|-----------------|--------|
| 地域子ども・子育て支援事業 | 子ども・子育て新制度において、市町村が実施する地域子ども・子育て支援事業（放課後児童クラブ活動費、延長保育事業、病児保育事業など13事業で構成）に対して県が補助を行い、働きながら安心して子育てができる環境を推進する。 | 1,843,000 千円 | 子育て支援課 |

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-------------------------|---|-----------------|--------|
| 放課後子ども教室推進事業【拡充】 | <p>県内の小学校区において、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、放課後や週末等の子どもたちの学習支援等を通して、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業委託市町村の増加【拡充】 | 75,633 千円 | 生涯学習課 |
| 待機児童解消推進事業 | 市町村が実施する待機児童解消のための保育所等整備や、家庭的保育に対して補助を行い、保育所等利用待機児童の早期解消を図る。 | 1,611,435 千円 | 子育て支援課 |
| 子育て支援を進める県民運動推進事業 | <p>地域社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、団体、個人、企業等の県民総参加による「県民運動」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民運動の周知活動や子育てに関する情報の発信 ・ 子育てに関する講演会等の開催 ・ みやぎっこ応援隊の募集活動 等 | 10,000 千円 | 子育て支援課 |
| 里親等支援センター事業【新規】 | 震災孤児や、震災等により増加している児童虐待のため親と生活できない児童等の家庭的な養育環境の確保を図るため、里親及びファミリーホームの養育者（以下「里親等」）を支援する「里親等支援センター」を設置し、里親等の増加への取組を行うとともに、里親等への支援体制の強化を図る。 | 15,000 千円 | 子育て支援課 |
| 基本的生活習慣定着促進事業 | <p>震災以降、子どもたちの生活リズムが不規則になることが懸念され、規則正しい生活習慣や外遊びなどの重要性がますます高まっていることから、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで、幼児児童生徒の基本的生活習慣の定着促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学的アプローチに基づいた普及啓発パンフレットの増刷 ・ 優良活動団体・ポスターコンクール入賞者の顕彰 ・ 紙芝居演劇の上演 ・ スマートフォン等の使用に関する注意喚起リーフレットの作成 ・ ルルブル運動の啓発 | 39,978 千円 | 教育企画室 |

(3) 地域と学校との協働による学校支援の仕組みづくり

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|-----------------------|--|-----------------|-------|
| 協働教育推進総合事業【拡充】 | <p>家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを推進し、家庭・地域の教育力の向上を図り、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働教育基盤形成事業 ・ 協働教育普及・振興事業 ・ 教育応援団事業 ・ 協働教育プラットフォーム事業 | 73,471 千円 | 生涯学習課 |

(4) 子どもたちの体験活動の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---------------|--|-----------------|-------|
| みやぎ農山漁村交流促進事業 | 農林漁業体験受入に取り組む地域グリーン・ツーリズム実践団体を対象とし、農山漁村における宿泊体験や情報発信活動等に係る事業費を補助し、震災復興や都市と農山漁村の交流促進を図る。 | 19,000 千円 | 農村振興課 |
| 人と自然の交流事業 | 自然環境に恵まれた県立自然の家の社会教育施設を活用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解の動機付けを図るとともに、一人一人が置かれている日々の生活の中で自ら意識を改革し、より良く行動する人材の育成を図る。 | 1,667 千円 | 生涯学習課 |

基本目標 7 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

(1) 地域をつくる生涯学習・文化芸術の推進

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|---|--|-----------------|--------------|
| みやぎ県民大学推進事業 | 県民の学習活動を支援するため、県内の学校（大学，高等学校等）や社会教育施設，市町村，民間団体等との連携・協力により、「みやぎ県民大学」を開催し，多様な学習機会を提供する。また，地域において生涯学習活動を推進する人材を育成する。 | 3,057 千円 | 生涯学習課 |
| 震災資料収集・公開事業 | 東日本大震災を後世に伝えるため，震災に関する図書資料などを収集するとともに，県図書館内に東日本大震災文庫を設置し，県民に公開する。また，震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開する「東日本大震災アーカイブ宮城」を運用し，今後の防災・減災対策や防災教育等への活用支援を行う。 | 22,888 千円 | 生涯学習課 |
| 第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）開催事業【拡充】 | 平成29年度に開催される「第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）」に向け，高等学校文化連盟と連携を図りながら，実施計画の立案，関係機関との調整など，必要な準備作業を行うとともに，開催に当たっては実行委員会を中心として大会の運営を図る。 ・ プレ大会，国際交流事業の実施【新規】 | 88,400 千円 | 全国高校総合文化祭推進室 |

(2) 文化財の保護と活用

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|----------------------|---|-----------------|--------|
| 指定文化財等災害復旧支援事業 | 震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため，修理・修復費用に対する補助を行う。 | 7,750 千円 | 文化財保護課 |
| 文化財の観光活用による地域交流の促進事業 | 地域の歴史，町並み，文化の象徴である本県の文化財を一体的に活用し，観光・産業資源として地域活性化を図るため，国内外の観光客に対して情報発信を行う。 | 18,342 千円 | 文化財保護課 |

(3) 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--------------|---|-----------------|---------|
| 広域スポーツセンター事業 | 被災者を含む全ての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、みやぎ広域スポーツセンター機能の充実を図り、県民が主体的にスポーツを楽しむことができるように「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成に向けた取組を支援する。 | 9,472 千円 | スポーツ健康課 |

(4) 競技スポーツ選手の強化に向けた環境の充実

| 事業名 | 事業概要 | 事業費 (H28 当初) | 担当課室 |
|--|---|-----------------|-----------|
| <u>スポーツ選手強化対策事業【拡充】</u> | 本県の競技力の向上を図るため、公益財団法人宮城県体育協会等を通じて競技スポーツ選手の強化を支援する。また、被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。 ・ <u>強化体制構築事業【新規】</u> | 129,815 千円 | スポーツ健康課 |
| <u>平成29年度全国高等学校総合体育大会開催事業【拡充】</u> | 平成29年度に南東北3県（山形・宮城・福島）で開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）について、主催者として準備及び調整業務を行うとともに、競技大会の運営を主催する市町及び宮城県高等学校体育連盟等への業務支援を行うことにより、円滑な大会運営を図る。 ・ <u>広報活動経費の増額【新規・拡充】</u> ・ <u>競技役員等養成事業【新規】</u> | 32,800 千円 | 全国高校総体推進室 |
| <u>平成29年度インターハイ等特別強化事業【拡充】</u> | 平成29年度南東北インターハイを成功に導くとともに、本大会は2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた本県出身選手の発掘、育成へもつながる大会となるため、高等学校の優秀なチームや選手の競技力の向上を目指す。また、本大会で好成績を収めることで、県民のスポーツへの関心を高め、体力・運動能力向上の契機とし、次世代の人材育成を図る。 ・ <u>強化補助費の増額【拡充】</u> | 25,000 千円 | スポーツ健康課 |
| <u>2020年東京オリンピック・パラリンピック強化支援対策事業【新規】</u> | 東京オリンピック・パラリンピックに出場の可能性がある選手を「みやぎアスリート2020」として指定し、その中で同大会で活躍し、メダルの獲得が期待できる選手に対して競技活動費を補助する。 | 15,000 千円 | スポーツ健康課 |